

◇愛知県「基幹的広域防災拠点」 ◆豊山町「避難所等」 計画概要説明会

愛知県 防災危機管理課 防災拠点推進室
豊山町 防災拠点推進室

 Copyright © 2015, Aichi Prefecture. All rights reserved.

◆本日の説明内容

- 1 愛知県「基幹的広域防災拠点」
- 2 豊山町「避難所等」
- 3 今後の予定
- 4 「地形測量」の実施

● 1 愛知県「基幹的広域防災拠点」

◆ 愛知県説明

1) 防災拠点について

2) 災害時利用

3) 平常時活用

1) 防災拠点について

東日本大震災 被害

- 規模: マグニチュード9.0
- 人的被害: 死者、行方不明者 約22,000人
- 住家被害: 全壊 約120,000棟
- 被害額: 約17兆円

【出典】消防庁第161報(R3.3.9)、地域の経済2011(内閣府)



▲ 岩手県宮古市



▲ 宮城県石巻市

1) 防災拠点について

○地震・津波により、沿岸部を中心に道路が寸断



▲宮城県東松島市



▲福島県広野町



▲宮城県多賀城市



▲宮城県南三陸町

1) 防災拠点について

【愛知県】南海トラフ地震の脅威

○M8～9地震の今後30年以内の発生確率は70～80%

＜愛知県の被害予測調査(平成26年5月公表)＞

- 人的被害:死者 約29,000人
- 住家被害:全壊 約382,000棟
- 被害額:約17兆円

「県土全体の災害対応力」の強化が急務

【出展】愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査結果(平成26年5月)
人的、住家被害は最大クラスを想定

1) 防災拠点について

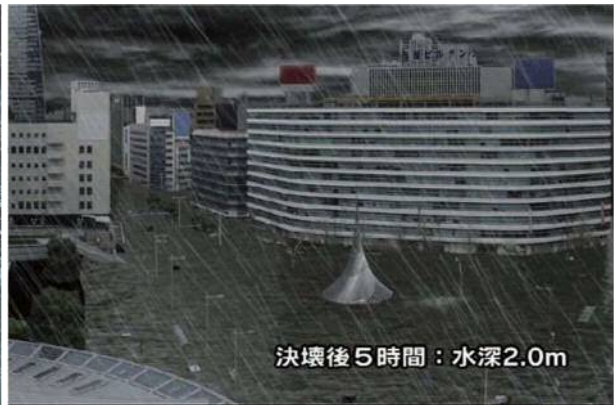
スーパー伊勢湾台風 被害想定

- 規模: 中心気圧910hPa、最大風速40m/s以上
- 人的被害: 死者 約2,400人、避難人口 約110万人
- 被害額: 約20兆円

【出典】東海ネーデルランド高潮・洪水地域協議会大規模水害対策レポート(平成29年5月)



▲名古屋港浸水イメージ



▲名古屋駅浸水イメージ

1) 防災拠点について

■ 防災拠点の役割

災害時、県民の生命と財産を守り被害を最小化

発災後、直ちに



- 救出・救助部隊を投入し応急復旧活動を展開
- 緊急支援物資の輸送を実施

■ 基幹的広域防災拠点

大規模災害時、広域のかつ甚大な被害が発生した場合に、迅速かつ的確に対応し、被害の軽減を図るため、以下の機能を有する施設

- 国・自治体・防災関係機関が総合調整する合同現地対策本部機能
- 自衛隊、緊急消防援助隊、警察災害派遣隊などの応援部隊の集結機能
- 救援物資の集積、分配機能 等

1) 防災拠点について

- 基幹的広域防災拠点(堺泉北港堺2区) 2012年供用、27.9ha
 - 国内外の救援物資を担う物資中継基地、広域支援部隊のベースキャンプ等として機能。
 - 平常時は、都市公園として一般開放。防災研修等を実施



「南海トラフ地震」被害規模と基幹的広域防災拠点の位置図(内閣府HPより)

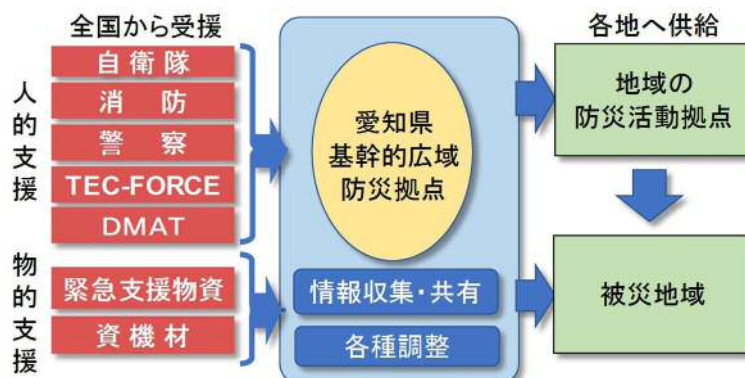
1) 防災拠点について

南海トラフ地震・スーパー伊勢湾台風等広域かつ甚大な災害では、

全国から人員・物資等の支援を受け入れ、被災地域や地域の防災活動拠点に迅速かつ的確に供給する後方支援が必要



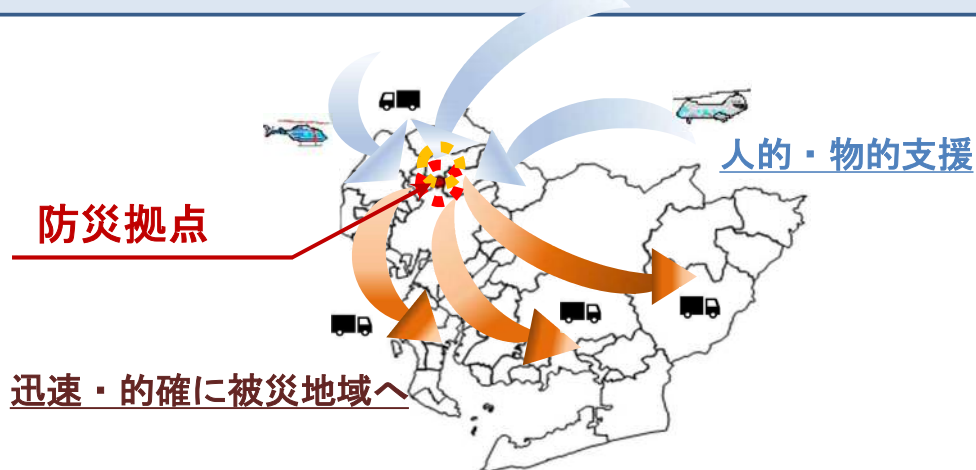
県内約130箇所の防災活動拠点の後方支援にあたる
「基幹的広域防災拠点」を整備し、
 県内全域の災害応急体制を確保



1) 防災拠点について

基本方針

- 空港・高速道路のダブルアクセス性を確保
- 消防学校を中核施設として、
24時間危機管理体制を確保
- 緊急支援物資の備蓄と中継・分配機能を確保
- 支援要員のベースキャンプ機能を確保



1) 防災拠点について



○名古屋空港北西部を候補地として選定

【候補地選定理由】

- ・高速道路、空港からのダブルアクセスが可能
- ・地震災害リスク(液状化)が低いこと
- ・風水害リスク(浸水)が低いこと

1) 防災拠点について

施設規模

愛知県全域を対象とした「後方支援機能」を確保

【『南海トラフ応急対策活動計画』(2015内閣府)に基づく】

- 支援部隊(消防、警察、自衛隊、TEC-FORCE、DMAT)
約5,000人を受け入れ
- 県民全員を対象とした支援物資を確保
- 物資輸送トラック約2,500台、救助部隊車両約900台
を稼働できるエリア

後方支援機能

- 拠点の指揮運用
- 広域支援部隊の一時集結・ベースキャンプ
- 救援物資の集積・分配
- 海外からの支援物資・人員受入れ
- 災害医療支援
- 物資等の備蓄

2) 災害時利用

■ 広域支援部隊の一時集結・ベースキャンプ

▽ 消防ベースキャンプ(福岡県消防学校)



- 集結する支援部隊
 - ・ 消防、警察、自衛隊
 - ・ 国土交通省(TEC-FORCE)
 - ・ DMAT 等

2)災害時利用

■ 救援物資の集積・分配

▽東日本大震災での救援物資中継(岩手県産業文化センター)



- 国からの救援物資例
- ・水、食料、育児用ミルク
- ・毛布、生理用品
- ・簡易トイレ、おむつ 等

2)災害時利用

■ 災害医療支援



←航空機を使用した
広域医療搬送

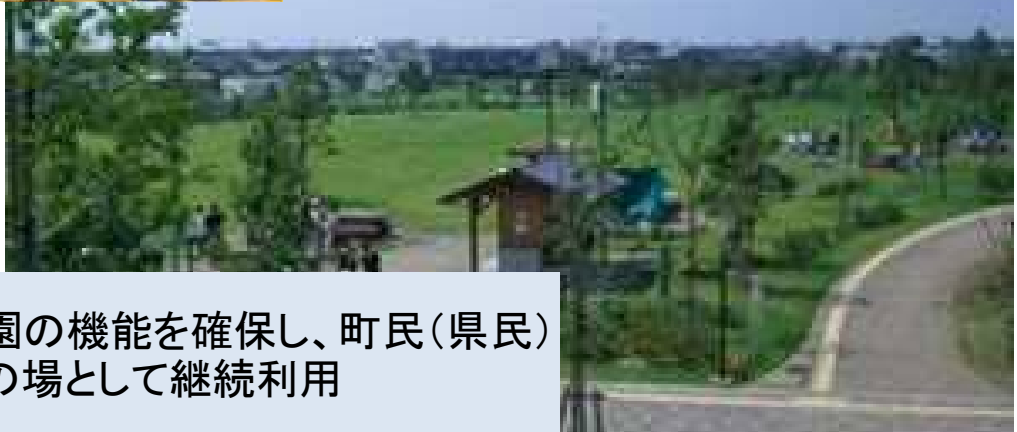
東日本大震災での →
災害医療活動



3) 平常時活用



■ 航空館boon



■ 芝生広場

- 神明公園の機能を確保し、町民(県民)の憩いの場として継続利用

3) 平常時活用

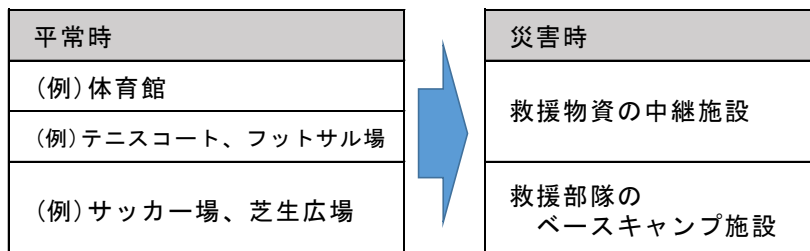
■ スポーツ施設



・屋内運動施設
参考: 愛知県体育館



・屋外運動施設
参考: 愛知県森林公園



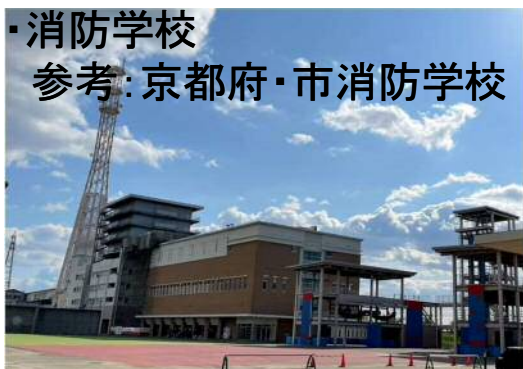
救援部隊のベースキャンプや物資中継施設を
スポーツ施設として活用

3) 平常時活用

■ 消防学校・多目的施設

・消防学校

参考: 京都府・市消防学校



・少年消防クラブ消防啓発



・防災啓発施設

参考: 名古屋大学減災館

防災活動拠点の指揮運用施設を、
消防学校や防災啓発施設
として活用

● 2 豊山町「避難所等」

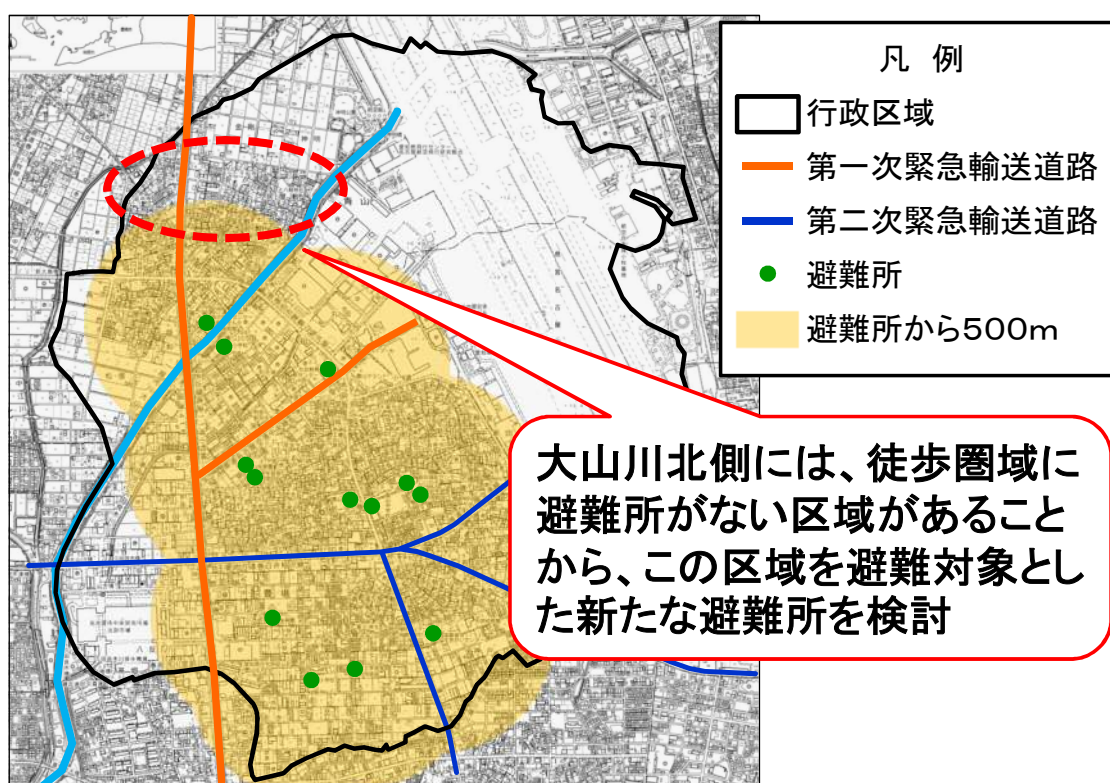
◆ 豊山町説明

- 1) 本町における防災への取り組み
- 2) 避難所の分布状況と徒歩圏域について
- 3) 災害時の避難所の役割
- 4) 平常時の避難所の活用
- 5) 新たな賑わいの創出

1)本町における防災への取り組み

- 豊山町第5次総合計画(令和2年度～)
 - － 防災体制の強化
 - ・ 避難所機能の充実強化、新たな避難施設の設置により災害対応能力の向上を図る
- 豊山町地域強靱化計画(令和3年度～)
 - － 避難所における良好な生活環境の確保等
 - ・ 避難所施設が不足する地域について、新たな避難所を整備する

2)避難所の分布状況と徒歩圏域について



3)災害時の避難所の役割



- ・生活場所の提供
- ・水・食料・物資の提供
- ・トイレなどの衛生的環境の提供
- ・生活・再建情報の提供
- ・感染症対策

4)平常時の避難所の活用

広いスペースを生かし多くの方が気軽に利用できる

アリーナ(体育館)
スポーツ機能を中心に、子どもから高齢者まで多世代が元気にスポーツを楽しみ、スポーツを通じて多世代交流を図る施設



5)新たな賑わいの創出①

愛知県	公園、グラウンド、屋内スポーツ施設、防災啓発施設
豊山町	体育館

町内外から多くの方が来訪

賑わい施設の検討

来場者の利便性向上

地域の魅力発信

地元商工業者と連携した
飲食や物販施設の検討

5)新たな賑わいの創出②

● 基幹的広域防災拠点(県)、避難所(町)の整備により

災害時	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 地域の防災力の向上 ◆ 災害支援活動の強化 ◆ 安全な避難路の確保
平常時	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 緑に親しむ憩いの空間の創出 ◆ スポーツやレクリエーション機能の強化 ◆ 地元商工業の発展 ◆ 地域世代間交流の充実 ◆ 公共交通の充実



●3 今後の予定

◆令和4年度都市計画決定に向けて調査設計を進めます。

- 都市計画決定に向けて、消防学校・公園等の検討を進め、改めて説明会を実施します。
- 用地は都市計画決定後に買収手続きを予定。

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
地形測量	→				
都市計画決定		★			
用地買収		→	→	→	
造成工事等			→	→	→★

完成予定

●4 地形測量の実施 ①

◆拠点整備エリアを確定させるために地形測量を実施します。

●実施時期

令和3年 ゴールデンウィーク明け から
概ね 4ヶ月程度 実施

●実施内容

現況の地形を把握するため、道路や土地の形状を現地で測量するもの

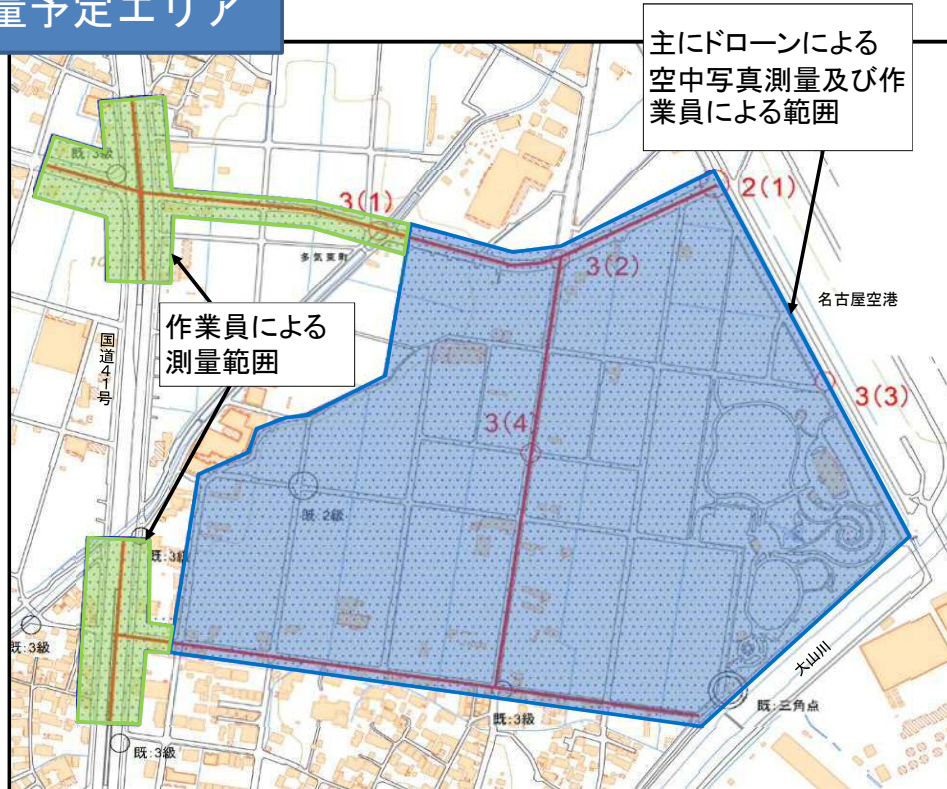
●測量業者

中部復建（株）

※測量作業員は 愛知県発行の身分証明書 を携帯

●4 地形測量の実施 ②

地形測量予定エリア



質疑応答